

IWAKUNI CITIZEN MANDOLIN CLUB



岩国市民マントリンクラブ第18回マンドリンコンサート

1975年8月16日土 6:30P M

岩国市労働会館



ごあいさつ

今年も忘れられない年になりました。

第4回日本マンドリン独奏コンクールにおいて、新井義悠君が第1位に田村隆司君が第3位に入賞いたしましたので、日本マンドリン界に岩国の名を広く知らしめることができました。また合奏では昨年および一昨年の広島公演、昨年の岡山での賛助出演に続き、今春は東京でも賛助出演を行い、それぞれ好評を博しました。

次はメンバーの住所の移動がはげしかったことです。東京に行く者帰って来る者、山陽路から関西に行く者その関西から東京に行く者等、社会人のクラブではなかなか全員が同じ条件で活動することは難しいものです。けれどもこうした散在する会員のお陰もあって、全国の他の地区の同好の志とも交流が生まれ、情報の交換からお互にライバルとして切磋琢磨して練習に励んでいますので、そのうち晴れがましい舞台に立てることも、また努力次第では、海外での演奏も全くの夢ではないように思えるのです。

メンバーの移動は、会の人事にも影響し、今回はその新幹事による第1回目のステージとなりましたが、これからは順々に会の運営にも若人の力と斬新な企画を切望しています。今回のプログラムからも遂に消えた鈴木静一作曲「失われた都」は、私達にとっては因縁の曲となりました。と申しますのは、数年も前から多数のメンバーの希望もあって来年は、来年こそはと計画して参りましたが、その年になるとどうしたことか諸般の事情によって翌年になり延べられてしまったのです。今年もその例に漏れなかったのです。

こうした歳月の流れの中にも、旧に混り新しい芽の息吹が感じられまじょうか。いつも変わらないのは岩国市の文化的会場です。いつになったら世間並のホールで演奏会が開かれるのでしょうか。聞いて下さる人、演奏する人皆汗だくです。

でも最後までご鑑賞いただきご感想の一言もいただければ幸いと存じます。

岩国市民マンドリンクラブ 会長 三浦孔司



家具、インテリアの総合コンサルタント

家具の山崎

岩国市麻里布町6丁目4-16 TEL 21-3989・5425



PROGRAM



(1部) 指揮者 中里文昭

序曲イ短調.....G. Claufznitzer

祈り.....U. Bottacchiari

夜の印象.....D. D-Giovanni

(2部) 指揮者 尾園勝善

ミュージカルへのお誘い

♪サウンド オブ ミュージック♪より

(3部) 指揮者 高島信人

狂詩曲「海」.....鈴木静一

オアシスにて.....E. Marti

交響的前奏曲.....U. Bottacchiari



曲目紹介

序曲イ短調

G・Claufznitzer

本曲はいかにもドイツ的な骨組みのしっかりした曲である。豪快な Andante Maestoso の弱奏に始まり軽快な Allegro 優美な Andante をくり返した後、終結部は圧倒する様な Piu Mosso で曲を閉じる。

作曲者についてはドイツ人と言う以外は余り知られていない。他に「序曲八長調」等がある。

祈り

U・Bottacchiari

Ugo Bottacchiari は「交響的前奏曲」「イル・ポート」などでわが国でも馴染み深い作曲家であるにも拘わらず、その他の作品は余り演奏されていない。本曲は比較的後期の作品で、小品ながらもその重厚な和音の響きにかにも作曲者の面目躍如たるものがある。

ちなみに彼のマンドリン合奏曲の小品として「村の謝肉祭」「夢うつつ」「小組曲」「夕べ」「エマ・イソック」「悩み」等がある。

夜の印象

D・De-Giovanni

作者 Domenico D-Giovanni はイタリア、ポローニアの生まれで、我々に深い親しみのある序曲「ローマトリノ」「アンデスの花」「我等が懐かしき山々に」等のマンドリン曲のほか、声楽曲も数多く作曲している。

この曲は、その標題の示す如く、夜の印象を幻想風に表わしたものである。夜を主題としたこの曲の変化に富んだ旋律の自由な取扱いは、誠に功妙の極致ともいうべきであり、夜の静寂憂鬱、歓喜を思わせるしっとりとした情緒に満ちあふれている。

♪ サウンド オブ ミュージック ♪

ナチ・ドイツの侵略から逃れて、自由と平和を求めて母国オーストリアから脱出する音楽一家、トラップ・ファミリーの愛と勇気の実話をミュージカルにしたものがこのサウンドオブミュージックです。作曲はリチャード・ロジャースの手になり、たくさんのお名曲をこのミュージカルの中にも生んでいます。とりわけ、「ドレミの歌」、「サウンドオブミュージック」「すべての山に登れ」などは、聴くたびにフレッシュな感動をもたらします。今日のプログラムは、前記の曲の他に数曲加えて、ナレーションとからませ、お送りしたいと思います。どうぞ、映画のあのすばらしい感動を思い出して下さい。

時計・宝石・貴金属



野村時計宝飾店

岩国市駅前正面(麻里布町4丁目15)

TEL 21-2744



パートナーシップでむすばれたお店
のシンボルサイン……

HOYAメガネ取扱店

メガネの野村

岩国駅前中央通り(交通公社隣)

岩国(0827) TEL 21-2671

狂詩曲「海」

鈴木静一

——知らぬまに後退する“ひき潮”の静かさには衰退（おとろえ）を感じる——キラキラと美しく輝きながら——

だが海はその中で巻き返しをたくらむ！

ひき潮は引きしぼられる弓づる、矢はやがて切ってはなされる！

“あげ潮”

磯を打ち砂浜を噛む浪！浪！

このとき海は深らつとはち切れるばかり活気に充ちる！

そして、その極限にくる「満潮」ののどかさ。この狂詩曲は、平穏の日の海の一日のくり返しを描いてゆく……。

オアシスにて

E・Marti

作曲家Eliseo Marti はイタリアに生まれ、スペインのバルセロナに在住した。多くのマンドリン曲を作曲したが、ピアノ曲も手がけている。この曲は1921年ス楽の研究誌“イル・プレットロ”の作曲コンクールに入賞した。

焼きつくような熱砂とキラキラと輝く太陽の下に広漠たる砂漠を横切る隊商にとって、オアシスは真に恵まれた楽園である。幾日も幾日も苦しい旅を続けた彼らは今待ちこがれたオアシス

ついた。青い草、丈高い椰子の木、あちこちに駱駝がその疲れをいやしている。太陽は既に地平線の彼方に沈み、限りなく広く続いた青空には、いっばいに散らばった星が瞬いている。彼らは赤い焚火のまわりに集まって団樂の夕べを過ごす。そこには久方ぶりの休息に心ゆくまでうち興ぢるものもあれば、母国の歌に故郷を偲ぶものもあるだろう。かくして歓喜と哀愁とのうちに砂漠の夜はふけてゆく。

交響的前奏曲

U・Bottacchiari

本曲はマンドリン合奏曲の中でも非常に骨組みのしっかりした、文字通り交響的構成を持つ大曲である。作曲家独特の重厚な和音の動き、計算された曲の運び、それに何より一つの主題が全曲の背骨として大きく貫ぬいている事で線の太い曲と言う印象を深くさせる。いわゆる「イタリアのマンドリン音楽」とははっきり一線を画する事ができると思う。ただ一つ、ボッタキアーリもイタリア人であり、彼の持つ旋律の甘さの底に流れるものはイタリアのセンチメンタリズムである。そういう意味で、近代的作曲技法とイタリアのセンチメンタリズムが見事に融和したこの作品はマンドリン音楽にとって貴重な財産であると言える。

民間車検工場・一日車検

岩国中央自動車工業株式会社

岩国市室ノ木1-7-7 TEL 21-8151

指揮者プロフィール

高島信人

当クラブの正指揮者として棒を振り始めて8年、
「青年」だった彼も、もう「中年」といわれる年齢になった。
しかし、常に何かを求め、音楽に打ち込む情熱はかわらず、
常にクラブ発展の中心として大活躍中である。

中里文昭

高校時代はマンドリン、大学では棒を振っている彼。
当クラブではマンド・セロのほか、今年から、
副指揮者として登場。
若いながらも厳しい練習で奏者を引っ張り、
中年太り気味の体とともに
貫録は充分である。

尾園勝善

高校時代から、編曲、指揮にその才能の片鱗を見せていたが、
今回はその才能をかわれて、
企画、構成、編曲、指揮と二部を全面的に任せられることにな
った。
個性的な顔立ちと、美しい音楽を
あくまでも後方から目をとじて御鑑賞願います。



3階 御好み焼 **法善寺** 2階 洋酒喫茶 **アミー**

中通り国際前(法善寺山根ビル) TEL21-0204

求む!!パート,バイト 時間給 800~1,000円

STAGE MEMBER

指揮者 高島 信人
 中里 文昭
 尾園 勝善

コンサート・マスター

新井 義悠

司会 上川 淳子

(1st. Mandolin)

新井 義悠
 山添 修志
 藤沢 幸昌
 田村 隆司
 中塚 博樹
 近間 正樹
 山本 むつ子
 森山 栄子
 中野 千代子
 吉行 恭子

(2nd. Mandolin)

山根 義広
 前田 慶恒
 俵藤 博文
 神八 みどり
 村中 宏江
 津秋 真理子
 小宮 道子
 江口 裕子
 佐伯 寿代
 柳村 典子
 国清 敦子
 高木 信行

(Mandola)

和久本 忠史
 松重 正清
 柴田 利和
 山中 富士雄
 藤本 匡孝
 山田 三笑子
 釘屋 時夫
 山小 敬子
 弘迫 正子
 田 貞子

(Mando Cello)

山本 芳生
 山根 道憲
 奥田 善文
 石川 里智
 中里 国智

(Bass)

安藤 田英雄
 藤岡 真一
 田代 三哉
 波羅 三哉

(Guitar)

松塚 展門
 尾園 勝善
 中須賀 弘明
 中塚 洋二
 森上 吉夫
 兼本 静江
 亀野 洋子
 目代 幾子
 丸山 妙子
 井上 文子
 広中 暢子
 古谷 君江
 角岡 久美
 中島 輝子

(Flute)

藤井 孝夫
 吉武 博子

(Clarinet)

本田 己江
 栗栖 淑江

(Timpani)

中村 あけみ



新装開店

珈琲茶館

コナ

TEL (0827) 22-8025

民芸御食事処

岩天亀茶屋

岩国市駅前中通りアーケード街

TEL 21-3819・22-8758

とってもすてきなお店



メガネ **森脇** 時計・宝石

岩国店 / 岩国市麻里布町6丁目5-17 TEL 0827(22)5988

和木店 / 玖珂郡和木町597-1 TEL 08275(2)3017

マンドリン関係の楽譜・レコード製作も取扱っております。

落合手工
カラチェ
オールド
エンベルガー

マンドリン……取扱い

落合手工マンドリン西日本総代理店

ひろしま楽器

〒730 広島市千田町3-6-31 第2木村ビル
TEL (0822) 46-1623



IWAKUNI
CITIZEN
MANDOLIN
CLUB



ごあんない

本日の演奏会、心ゆくまでお楽しみいただけましたでしょうか。
当クラブでは、今後ともマンドリン音楽を通じて広く皆様方との交流を深めて行きたいと存じます。

つきましては、皆様方の御参集を心よりお待ちしております。

練習日時 毎週土曜日 19:00~21:00

練習場所 岩国市中央公民館

連絡先 石川 善久
岩国市麻里布町4-14-24
TEL 21-0676